

外登・入管法と差別を撃つ

■上■

新社会党
茨木市議 山下 慶喜

政府の外国人政策は排外主義的・ご都合主義で、外国人の人權を無視しているとの批判は強く、外国人登録法や入国管理法の抜本的見直し運動も粘り強く続けられている。今年も四月に研究交流集會がもたれた。新社会党茨城市議(大阪府)で外登法や入管法問題に長い間取り組んでいる山下慶喜さんが報告する。

第九回を迎えた外登法・入管法と民族差別を撃つ関西研究交流集會が四月十六

関西交流集會

日に京都大学で開かれた。この研究交流集會は、排外主義やご都合主義に満ちた政府の外国人政策を突き直して求め、また、国境を越えた人々の関心を交流することを通じて侵略と戦争、差別と排外主義が世界を支配するのを阻止して毎年開かれているもの。

石原妄言に批判集中

反動化する政治に怒り

相澤さんは、自衛隊の新聞の借金がある。空港が失敗する体質がつくられ、一方を見ると、阪神大震災では、すれれば更に百万円膨らんで地場産業が破壊されてい自衛隊員すべてが救助に当れあがる」と空港建設を批く。結局政府の金がなくなつたってのはなく、か判した。つたら基地に頼るしかない。

言者が石原慎太郎東京都知事の「不法入国した多くの三國人、外国人が非常凶悪な犯罪を繰り返している。大災害時には騒擾事件が想定される」と「三國人」の蔑称を用いて偏見をあらわし、「軍隊としての自衛隊に治安出動を求めた」言への批判であった。在日フォーラム代表の李

言者が石原慎太郎東京都知事の「不法入国した多くの三國人、外国人が非常凶悪な犯罪を繰り返している。大災害時には騒擾事件が想定される」と「三國人」の蔑称を用いて偏見をあらわし、「軍隊としての自衛隊に治安出動を求めた」言への批判であった。在日フォーラム代表の李



京都大学で開かれた9回目の「外登法・入管法と民族差別を撃つ関西研究交流集會」では、反動化する政治への怒りに満ちた発言が相次いだ

また震災復興と神戸空港の建設に触れ、「阪神大震災の復興に十年間で二千億円が使われたが、その大半が公共事業だと指摘、神戸市は市民一人当たり二百万円の中で政府の金をあてに

ぶる元気で、せまっている沖繩サミットへは着手納地を人間の輪で包囲したい」と決意が述べられた。在日外国人の参政権問題では、前国会に提出されていた「自由・公明案」は、新たな外国人の分断を生むと批判が続出。「とめよう戦争への道! 百万人署名運動」の大野康平弁護士は昨年の国会で相次いだ反動立法と憲法調査会に触れながら、「憲法は時代遅れで環境権が入っていないというが戦争を最大の環境破壊である。憲法調査会の真の目的は九条改憲にあり、改憲は絶対許されないと訴えた。